

発 言 通 告 書

発言者氏名	高橋 敏明
発言の会議	平成21年 9月 8日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
答弁を求める者	市長

【件名及び発言の要旨】

1 市長としての多選に対する考え方について

- (1) マニフェストでは施策の時期が1期4年以上かかる項目が存在し、2期、3期と継続する意思・意欲を感じるが、多選に対する批判が多くある中、在任の期限を制限する条例等についてどのように考えているか。
- (2) 任期の途中放棄についてどのように考えているか、また、もしそのようなことになった場合、退職金も放棄されるのか。

2 行財政改革について

- (1) 財政改革の施策について経常収支比率の改善等を掲げているが、具体的な数値目標は明確に示してもらえるか、それとも2年目までに実現するとしている「財政基本計画」において明確に示されるのか。
- (2) 行政改革について、現在実行中の集中改革プランをそのまま継続するのか、見直しを図るのか、また具体的にどのように取り組んでいくのか。

3 職員給与の今後のあり方について

- (1) 本市として、慣習としてきた職員給与の人事院勧告に準じた取り扱い方を継続されるのか、それとも本市の財政事情を勘案して、本市独自の判断で決めていくのか。

4 現計画等の見直しについて

- (1) 基本計画の上位の計画である総合計画や基本構想について見直しを行うのか、行うとすれば、どの部分をどういう手順と方法で行っていくのか。

5 基地問題について

- (1) 基地問題については、一切前市長の基本姿勢を継続していくことで理解していいのか。
- (2) 地位協定の見直しや基地交付金増額への対応、横須賀に駐留する米軍との交流の仕方をどうしていくのか。
- (3) 原子力空母ジョージ・ワシントンの母港化から1年が経過するが、感想は。
- (4) 原子力空母の安全性に対する市民の懸念や不安を市長は取り除く努力が必要と思うが、市長はどう対応していくのか。

6 救急医療センターの今後について

- (1) マニフェストでは、救急医療センターについては、移転はせず改修にとどめるということだが、これは移転を期待している市民や横須賀市医師会にとっても残念なことである。市長は、医師会抜きにセンターの運営は難しいと考えているようだが、市民や医師会には信頼関係を損なわずに、どう説明していくのか。
- (2) 救急医療センターが移転しない場合、新港埠頭の新交流拠点整備計画にそごが生じることになるが、その計画の埋め合わせはどうするのか。

7 職員の意識改革について

- (1) 職員の意識を変える施策として、職員の顔写真つき名札着用の徹底とタイムレコーダーの導入があるが、この2つの施策と職員の意識改革との関連性についてどう考えているのか。
- (2) 変えなければいけない職員の意識とは何か。

8 「広報よこすか」の全面改訂に関連して

- (1) 「広報よこすか」を市内全駅で職員に配布させるとしているが、その意義と目的は何か。

9 市長の姿勢に関連して

- (1) 従前、市長には専用の公用車やトイレが存在したのは、市長のセキュリティ上の理由からと推察するが、危惧される市長自身の安全・危機管理は、緊急時や災害時の場合を含め、今後どうするのか。
- (2) 市長専用公用車を廃止されたが、正副議長専用公用車の存在についてどう考えるか。

10 「議会对応マニフェスト」について

- (1) 役人用語である「検討する。」「前向きに取り組みたい。」等の言葉の使用をやめてほしい。こういった漠然とした、抽象的な答弁を避け、マニフェスト同様、具体的にいつまでに、どのような方法で、という方式に「チェンジ」してほしいがいかかが。